

# できることの「見える化」

「ものさし」でみんなハッピー♪

6班

# 講習会担当者の悩み

- \* この内容でいいのか
- \* 学生・教員ニーズがわからない
- \* 学生が退屈している・・・
- \* 学生のレベルに差がある
- \* 2年次以降に教えるチャンスがない
- \* 教員・他部署と連携できていない

# 問題点

- \* 大学の教育方針、教育内容を把握していない
- \* 図書館・教員・学生がつながっていない

# 目 標

- \* みんなが満足する内容にしたい  
(教員・学生・図書館)
- \* 段階に応じたメニューを作りたい

# そのために・・・

- \* 達成レベルがわかる**「ものさし」**作り
- \* できることの**「見える化」**

# ものさしをどう作る？

## 1. 図書館レベル

- \* 大学の教育目標を知る
- \* シラバスを読んでみる
- \* 担当者が作成→館内で共有・修正

できるところから！

# ものさしをどう作る？

## 2. 教員へアプローチ

- \* 試作品を見てもらい、意見をもらう
  - \* よくガイダンスを申し込む教員
  - \* 手当たり次第ばらまく(メールボックス等)

## 3. 試作品を改訂する

公開！

# ものさしを作ったら

## \* ものさしのPR

必要な本がすぐ見  
つけられるようになります！

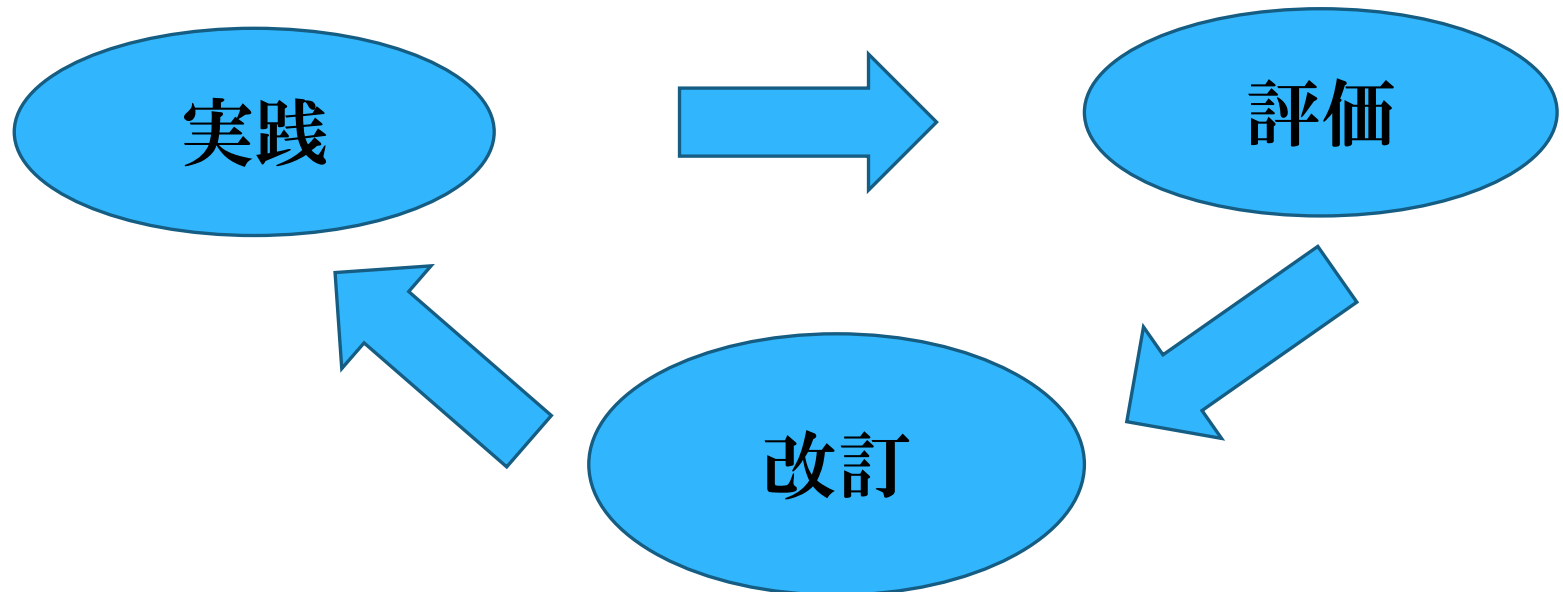
〇〇できる学生  
が育ちます

レポートがさくさく書  
けるようになります！



# 実践

- \* ものさしを基に授業を実施
- \* 教員・学生の反応・フィードバック→評価  
→改訂





みんなハッピー！！